京都市会議員

活動報告レポート
Vol.4-8

江村りさ



profile

嵯峨野保育所、嵐山小、嵯峨中、北嵯峨高、同志社大学 卒。
2011年市議に初当選。現在4期目 地域政党京都党党首。

クマ対策

京都市内で増える「アーバンベア」
先行事例を活かした水際対策を求めました！



▲2025年9月市会 代表質問にて

京都市内でも、いわゆる「アーバンベア」と呼ばれるクマの目撃情報が出るようになってきました。これは全国的にも見られる傾向ですが、なぜクマが市街地に出没するのか、その生態や背景を理解したうえで対策を講じることが重要です。そこで私、江村りさは、京都府と京都市の野生鳥獣対策を担当する部署同士の連携を強化することに加え、学習放獣やベアドッグなど、他地域で実績のある先行事例の導入を含めた早急な水際対策を、代表質問で求めました。

今後は、出没状況に応じて、クマを引き寄せる原因となる柿の木などの誘因物を計画的に除去することなど、人とクマが持続的に共存できる社会を見据えた対応も引き続き提言してまいります。

行政の対応フロー

京都市ではクマの目撃情報を受けた場合以下のような対応となります。

目撃情報を受ける（区役所にて集約） → 防災・防犯メールの配信（怪しい情報は配信なし） → パトロールの実施

足跡・糞などの痕跡、樹皮のひっかき跡などを確認 → 明確な形跡があれば改めて防犯メール配信

「クマ出没情報マップ」の活用を

らしき動物の
クマ目撃情報
＝
クマがいた
…ではない

行政に「クマを見たかもしれない」という情報が入ると、現地確認のパトロールに先立ち、防災・防犯メールが配信されます。この段階ではクマと確定していないため、「クマらしき動物の目撃情報」としてお知らせされます。その後のパトロールで、足跡やフンなど「クマがいたと断定できる痕跡」が見つからない場合も少なくありません。そのため、クマ目撃情報の配信があっても、必ずしもクマの出没が確定した情報とは言えません。



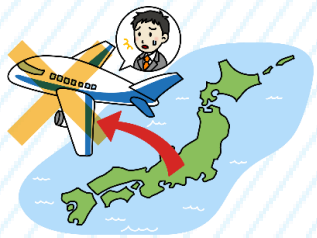
クマ出没情報マップはコチラ

こうした点を踏まえ、情報が明らかに不確かな場合には、防災・防犯メールの配信を見送るなど、より慎重な対応も行われるようになっています。

より詳細な情報を確認したい際は、京都府の「クマ出没情報マップ」をご活用ください。目撃情報の内容や周辺の出没状況、パトロールなどをもとに精査し、平日は毎日更新されます。

海外行政調査をどう考えるか
京都党の判断

2026年1月、京都市議12人らによるオーストリアでの海外行政調査が実施されました。海外の先進事例を学ぶ意義はありますが、厳しい財政状況や市民生活への影響を踏まえ、慎重な判断が必要だと考えてきました。調査内容には評価すべき点もありつつ、京都市の財政は単年度黒字まで回復していることから、今回の海外行政調査そのものには賛成しました。しかし、物価高騰などにより市民生活は依然として厳しい状況が続いています。だからこそ、議員自身が市民感情に丁寧に向き合い、説明責任を果たす姿勢が重要です。
こうした考えから、京都党議員は今回の海外行政調査には参加しませんでした。





能登の教訓を京都へ
避難所開設の課題解消に向けた提案

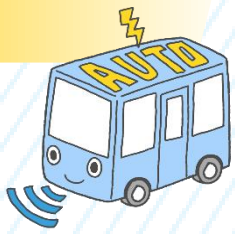
能登半島地震では避難所に逃げてきた住民が学校の鍵が閉まっていたために校舎に入れず窓を割って入る混乱が相次ぎました。
京都市でも鍵を預かる担当者がすぐ駆けつけられない不安の声があります。
そこで私は、一定の震度で自動開錠でき、停電時も対応可能な「鍵ボックス」を校門などに設置し、運営マニュアルも保管できる仕組みを提案しました。
仙台市など他都市の導入例を参考に、京都市でも調査・検討を進めるとの答弁を頂きました。
今後も実効性のある仕組みを求めていきます。


▲芦屋市立潮見小学校
鍵BOX設置の様子



▲2025年9月市会 代表質問にて

洛西地域の自動運転バスの導入
実証実験を開始！



市民の足を守るため、公共交通に新たな交通システムの導入が必要であり、私も市内の交通網の根本的な見直しの必要性について提言を行ってまいりました。
新たな交通システムはLRTやBRT、新型ロープウェイなど様々な選択肢が出てきていますが、自動運転バスは住宅街と鉄道の主要な駅を結ぶ役割を果たせることが魅力です。
京都市は車道が狭く、自動運転では技術的に難しいとされてきましたが、日進月歩で技術革新が進む中、ついに洛西地域での実証実験に踏み出されることが決まりました。
交通の維持や利便性の向上に向けて、交通政策に取り組んで参ります。

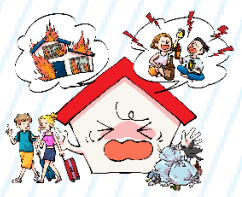

自動運転バスの導入に向け、洛西地域で実証実験が開始

民泊の弊害を最小限に
観光都市として国へ要望！

コロナ禍を経て京都市の観光が再び活気を取り戻す中、民泊による騒音やゴミ出しなどをめぐり、地域住民の皆さまからお困りの声が寄せられています。観光は京都の主要な産業の一つですが、住民の暮らしを脅かすものであってはなりません。
まずは、ルールを守らない問題のある事業者を、しっかりと取り締まることが必要です。
そのうえで、住宅宿泊事業法に基づく民泊については、住民が民泊の管理者で連絡を取れない事象が起こらないよう、新たな法整備も視野に入れ、国への要望活動も行いました。


参議院会館にて各省庁への要望活動
「宿泊施設の在り方について」も議論


民泊の適正運営で生活不安を解消！



京都市では、民間の給与水準との均衡をとるため給与改定が行われ、その結果、議員報酬を69,600円増額する案が提案されました。

しかし現在、物価上昇が賃上げペースを上回り、10月時点で10カ月連続で実質賃金がマイナスとなるなど、市民生活への負担が大きくなっています。こうした状況を踏まえれば、今求められるのは市民に寄り添った政治姿勢を示す判断であると考え、私たちはこの増額案に反対しました。

物価高騰が続く今、議員報酬の増額には反対しました！



議会では、賛成33・反対32で可決となりましたが、私たちは増額分について、京都市外の団体へ寄附いたします(※１)。

※１公職選挙法により、議員の選挙区内での寄附は禁止されているため。

国の物価高騰対策に向け
緊急要望を提出しました！


維新・京都・国民市会議員団
より緊急要望

国の物価高対策において京都市として
実効性ある支援を行うため、緊急要望を行いました。

要望内容
- 対象は全世帯とすること
- お米券でなく品目や利用方法を選択できる支援方式とすること
- 電子マネー配布などの体制を早期に整備すること　など

要望後、京都市から提示された物価高対策の概要▽

京都市概要
- 全世帯へ5,000円相当のデジタル地域ポイントを実施
- 子ども１人当たり国給付２万円に加え5,000円加算
- 住民税非課税世帯へ給付金5,000円（１世帯当たり）

市民の皆様が直面する物価上昇の負担を鑑み、対策に遅延が生じないようチェックして参ります。

TOPICS!

『京都未来フォーラム』In同志社大学 にて講演

会派を代表して京都市議会よりパネリストとして講演に立ちました。
政治家を目指したきっかけから今後の京都の展望など学生さんに向き合いお話をして参りました。


『京都未来フォーラム』
にて講演の様子

京都市会議員 江村りさ事務所
公式HPはコチラ
〒616-8101
京都市右京区太秦和泉式部町13-2大村ビルB　emurar@nifty.com
☎075-354-6225　FAX 075-384-0202
□後援会瓦版4-8号拡大版　□発行日　令和8年1月23日　□編集・発行　江村りさ事務所

YouTube Follow Me
江村りさチャンネル

災害時避難所に入れない?!
実地調査から見えた課題とは
コチラから

